

さくらほっと NEWS

vol.45
平成30年秋号



救命救急センターのみなさん

いざというときに備えて
救急医療・災害医療の充実に取り組んでいます...2
名市大病院のチカラ vol.133

認定臨床研究審査委員会4
ことばの機能回復をサポート 言語聴覚士
市民公開講座・セミナーのご案内

国の方針に基づき、地域医療連携を推進しています。

国の方針▶医療機関の機能分化

特定機能病院(名古屋市立大学病院)

入院や手術などの専門的な診療・検査を含む高度先進医療を担当

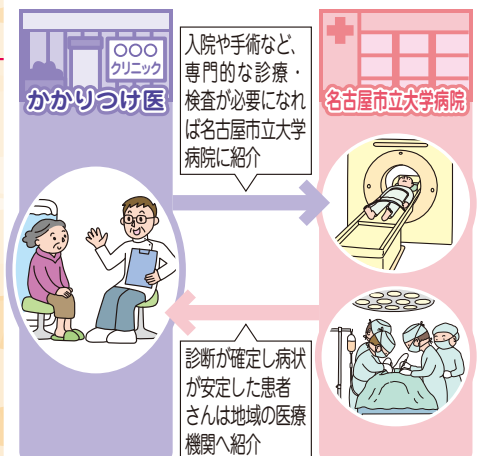
地域の医療機関(かかりつけ医)

風邪などの日常的な病気や症状が安定した慢性疾患などの患者さんに対する医療を担当

地域医療連携の推進

診断が確定し症状が安定した患者さんは地域の医療機関にご紹介しております。

※症状が悪化した場合などは、改めて名古屋市立大学病院へ紹介されます。



いざというときに備えて 救急医療・災害医療の充実に取り組んでいます

救急医療

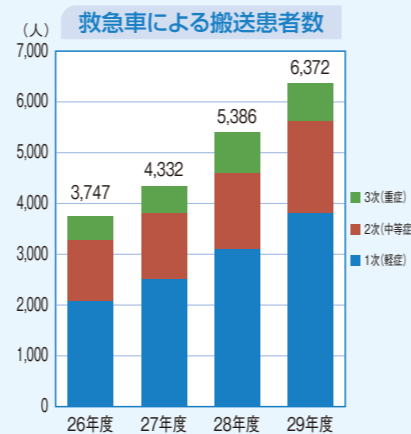
当院の救命救急センターでは、急性心筋梗塞、脳卒中、多発外傷など、生命に関わる重症(三次救急)患者さん、一般の救急医療機関では対応できない重篤な救急患者さんなどに対して、各専門診療科の医師と連携し、高度な医療を総合的に提供します。さまざまな患者さんが搬送される救命救急センターにおいて、重症度と緊急度を見極め、患者さんを確実に救命するとともに、より多くの救急患者さんを受け入れる体制を整えています。



改修後の救命救急センター

救急搬送件数は年々増加し、29年度の救急搬送患者数は6,000人を超えました。

昨年救命救急センター内のフロアを改修し、より迅速に診療を行えるように進化しました。これからも24時間365日、市民の皆様へ安心を提供し続けていきます。



災害医療

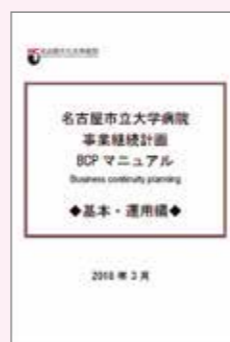
災害時に重症を負った被災者に緊急治療を行うなど、医療救護活動の拠点となるのが災害拠点病院です。当院は其中でも、この地域の災害拠点病院を取りまとめる役割を持つ『地域中核災害拠点病院』に愛知県より指定されています。

災害が起こった場合、被災傷病者の受入などを行うと同時に、入院患者さんに対する診療を継続し、通常診療の再開に向けた復旧作業も行う必要があります。そのための計画がBCP(事業継続計画; Business continuity planning)です。BCPを策定することにより、災害発生後、少しでも早く病院機能を回復する足掛かりとなります。当院では、平成30年3月にBCPを策定しました。



災害訓練の様子

また当院では、毎年、災害時の患者受け入れをスムーズに行うための訓練を実施しています。地域にお住まいの方や本学の学生が模擬患者になり、本学の学生消防団による搬送を行うなど、本番さながらの緊張感を持って訓練に臨んでいます。瑞穂区の区役所、消防署、警察署とも連携を図り、普段から顔の見える関係づくりにも取り組んでいます。



BCPマニュアル



間瀬 副病院長
(救急・災害医療担当)

間瀬副病院長からのメッセージ

当センターの特徴は「大学病院」であるということです。受け入れた患者さんに対し、各診療科の医師と密接な連携で、高度かつ専門的な治療を行っています。また昨年度はセンターの改修を行い、より効率的に診療を行えるよう進化しました。24時間いつでも適切な医療を迅速に提供できる体制により、市民の皆さんに安心していただけるよう今後も努めて参ります。

名市大病院のチカラ Vol.13

心臓血管外科

小さな赤ちゃんからお年寄りまで心臓血管疾患を支えます



心臓血管外科
三島部長

心臓血管外科の最大の特徴は、生まれたばかりの赤ちゃんからお年寄りまでのあらゆる年齢の患者さんに手術対応していることです。子供から大人までの心臓の手術を行っている大学病院は大変少ないです。当院は日本の新生児医療のパイオニアですので、その伝統を引き継ぎ、現在も子供の心臓手術に熱心に取り組んでいます。平成29年にはハイブリッド手術室を設置し、これまで以上に成人患者さんに高度な医療の提供が可能となりました。この手術室は透視ができる手術台を備え、エックス線撮影検査とそれを活かした迅速な治療ができます。ここでは放射線科と合同で大動脈瘤や大動脈解離への血管内治療を行っています。カテーテルによる心臓の弁置換術などの準備も進めています。産科、小児科、内科、麻酔科との切れ目の無い診療連携と4つの専門性の高い集中治療室などがこの診療を支えています。

います。幅広い年代への専門性に加え、迅速で安全な手術のできる体制が整っています。



手術風景: 胸部大動脈瘤の血管内治療を行うスタッフ



手術室: 最新の機器を備えたハイブリッド手術室

リウマチ・膠原病内科

「健康な状態を取り戻す」ことを目標としたリウマチ膠原病治療



リウマチ・膠原病内科
難波部長

膠原病は、免疫の異常を伴い、関節や筋肉の痛み、発熱などの症状に加え、生命の維持に重要な内臓にも炎症をきたしうる原因不明の病気の一群です。まだ根治療法がなく治療が長期にわたるため、病気の症状のみならず副作用や医療費が患者さんにとって大きな負担になっています。昨今の診断方法の向上や治療薬の進歩により、多くの膠原病の治療成績は向上しました。中でも、最も患者数の多い関節リウマチでは、生物学的製剤などの炎症に深く関わる標的をピンポイントで抑える薬が登場し、早期の診断と十分な治療により、多くの患者さんが症状のない状態「寛解」を達成できるようになりました。多くの患者さんが現在の治療薬の恩恵を十分に受けることができるよう、近隣の先生方と病診連携を強化し積極的に患者さんを受け入れてい

ます。またしっかりとお薬を使う上で、副作用を未然に防ぎ悪化させないよう患者さんの教育に取り組んでいます。さらに寛解達成後は、安全性や経済的負担の観点からできるだけ少ないお薬でよい状態を維持できるよう、患者さんが寛解状態にあるかを綿密に評価しています。このように多くの患者さんが「健康な状態を取り戻す」ことができるよう診療にあたっています。



カンファレンスの様子

認定臨床研究審査委員会

本学に新たに「名古屋市立大学病院臨床研究審査委員会」を設置しました。平成30年3月30日付で厚生労働大臣から臨床研究法（平成29年4月14日付公布、平成30年4月1日付施行）による認定を受け、活動を開始しています。（平成30年6月30日現在、全国で52施設）

臨床研究法は、わが国で過去に不適切な臨床研究が行われたことへの反省から、国民の臨床研究に対する信頼の確保及び、臨床研究の推進による保健衛生の向上への寄与を目的として制定されました。

臨床研究法においては、未承認・適応外の医薬品等の臨床研究もしくは、製薬企業等から資金提供を受けてその製薬企業等の医薬品等の臨床研究を実施する場合を特定臨床研究として、これらの実施の手續、認定臨床研究審査委員会制度、臨床研究に関する資金等の提供に関する情報の公表について定めています。

本学の委員会では、学内・学外を問わず、特定臨床研究の実施を計画されている研究者からの審査依頼を受け付け、中立的かつ公正に審査を行うとともに、今後、全国の認定臨床研究審査委員会によるネットワークの一員として、日本の臨床研究を支える役割を担います。

ことばの機能回復をサポート 言語聴覚士

私たちは“ことば”によってお互いの気持ちや考えを伝えあい、経験や知識を共有して生活しています。ことばによるコミュニケーションには言語、聴覚、発声・発音、認知などの各機能が関係していますが、病気や交通事故、発達上の問題などでこのような機能が損なわれることがあります。

言語聴覚士はことばによるコミュニケーションに問題がある方に、自分らしい生活を構築できるよう支援する専門職です。また、飲み込みの問題にも専門的に対応します。ことばや飲み込みの問題の本質や発現メカニズムを明らかにするために、検査・評価を実施し、対処法を見出し、必要に応じて訓練・指導・助言を行います。

このような活動は、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・管理栄養士などと連携し、チームの一員として行っています。



言語聴覚士の若尾佳代さん



言語の機能を評価中。患者さんに必要な検査を選んで実施します。

市民公開講座・セミナーのご案内

●市民公開講座

日付	時間	会場	定員	講演者	内容	問い合わせ先
9月9日(日)	10:00～11:30	大ホール (病棟・中央診療棟3階)	200名	脳神経外科 助教 西川 祐介 助教 大蔵 篤彦 教授 間瀬 光人	名古屋市立大学で知ろう 脳神経外科の最新治療	医学研究科 脳神経外科学 TEL:052-853-8286
9月23日(日)	13:30～16:00	大ホール (病棟・中央診療棟3階)	300名	腎臓内科 医師	患者さんと御家族のための 腎臓病セミナー	医学研究科 心臓・腎高血圧内科学 TEL:052-853-8221
11月11日(日)	10:30～12:10	大ホール (病棟・中央診療棟3階)	300名	消化器内科医師 及び 消化器外科医師	炎症性腸疾患について	医学研究科 消化器・代謝内科学 TEL:052-853-8211

●患者情報ライブラリーセミナー

日付	時間	会場	定員	講演者	内容	問い合わせ先
8月23日(木)	14:00～14:30	患者情報ライブラリー (病棟・中央診療棟 B1階)	30人程度 (先着順)	神経内科 助教 水野 将行	認知症の早期治療の意義	患者情報ライブラリー 052-851-5511 (平日9時00分～16時00分)

※次回(10月開催)については当院ホームページ上でお知らせします。

全て事前申込不要(先着順)・参加費無料ですので、どうぞお気軽にご参加ください。